



目で見える
海外論文発表

確率論的安全評価・管理 (PSAM11) & ヨーロッパ安全・信頼性 (ESREL2012) 合同国際会議の論文発表

鄭 嘯 宇*

Presentation at PSAM11 & ESREL 2012

Key Words : PSA, PSAM, ESREL

<参加会議> PSAM11 (Probabilistic Safety Assessment and Management) & ESREL 2012 (European Safety and Reliability)

<開催場所> Helsinki, Finland

<渡航期間> 6月24日～7月2日

<発表タイトル> α -Decomposition Method: A New Approach to the Analysis of Common Cause Failure

2012年6月25～29日、ヘルシンキ（フィンランド）の Scandic Marina Congress Center（写真上）にて開催された PSAM11 & ESREL 2012 で口述発表をしました。これらは安全・リスク評価分野で権威ある学会で、今回は1996年以来3度目の合同開催でした。会議は複雑なシステム（原子力を含める）における高い安全確保のために、様々な分野の専門家と協力しつつ最先端の技術や手法の開発を目指しています。パネルディスカッション（写真中）では、福島事故に関して、3.11の地震と津波の影響、リスク評価・管理方法について議論が行われました。27日に、ベイズ統計による原子力発電所の共通原因故障パラメータ評価について発表しました。質疑では、共通原因故障の数値モデリングにおいて、メンテナンスおよび時間依存性を考慮する方法について議論をしました。海外の一流の研究者から本研究において重要なコメントを頂き、大変貴重な機会でした。



会場



福島事故のパネルディスカッション



*Jin SYUE

1984年7月生

大阪大学大学院 工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 量子システムデザイン工学領域（山口研究室） 博士後期課程3年

指導教官：山口 彰 教授

TEL：06-6879-7895

FAX：06-6879-7891

E-mail：zheng_x@qe.see.eng.osaka-u.ac.jp



Woody Epstein (Scandpower Inc.) と著者